

下水道事業会計予算のあらまし

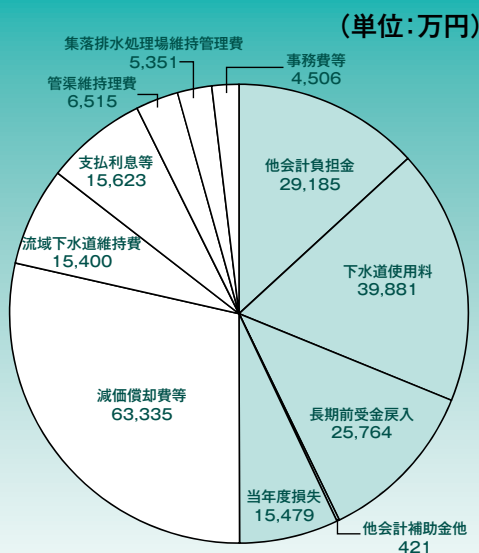
収益的収支

～下水を処理するための予算～

収入 9億5251万円
支出 11億0730万円

家庭や事業所で発生した汚水を下水処理場に送り、処理するための経費とその財源です。

町内の汚水・雨水管を維持管理する経費や、汚水を浄化する経費が含まれます。不足分は、前年度利益などで補てんしています。



支出

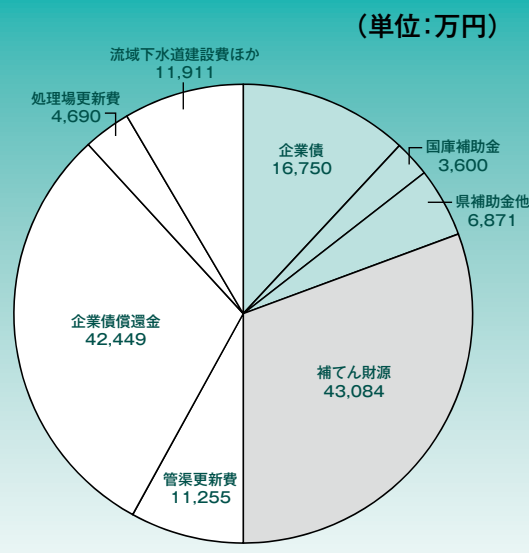
収入

資本的収支

～下水処理設備をつくるための予算～

収入 2億7221万円
支出 7億0305万円

下水処理場や汚水管、雨水管の整備と長寿命化を進めるための経費や、整備するために借り入れた資金の返済に関する経費とその財源です。国からの借入金や補助金などで賄うほか、不足分は内部で留保、積み立てしていた資金を取り崩すなどして補てんしています。



支出

収入

平成29年度主要事業

公共下水道管渠建設改良事業 (1億1255万円)

未整備地区での下水道管の整備と長寿命化対策

流域下水道建設負担金 (1億520万円)

下水処理場の整備・更新に要する建設負担金

農業集落排水処理場建設改良事業 (4690万円)

老朽化した農業集落排水処理施設の機能強化



《平成29年度下水道事業業務予定量》

※矢巾町の下水道は、市街地の公共下水道と農村地域の農業集落排水に分けられます。

- 処理戸数 (下水道に接続している世帯数) **9,810戸**
- 年間処理水量 (1年間に処理する汚水の量) **3,763,150m³**
- 1日あたり処理水量 (処理水量を年間日数で割った水量) **10,310m³**

持続可能な事業運営のため、今年度も下水道施設の更新・耐震化に取り組んでいくジャ!

下水道事業会計について詳しくは、役場上下水道課経営係(☎611-2561)へ。

安心安全で快適な住まいを応援します



住宅関連 助成事業のご案内

① 耐震診断士派遣事業・ 耐震改修工事助成事業

熊本地震や東日本大震災など、いつ、どこで大地震が起こるか分かりません。もし、大地震が起きて、住まいに大きな被害がなければ、家族の命や財産、そして今までの暮らしを守ることができます。

町では、木造住宅の耐震化を促進するため、現在の耐震基準ができた昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断（建物の健康診断）や耐震改修（建物補強）の費用の一部を助成します。対象となる住宅にお住まいの方はこの機会にぜひご検討ください。

● 木造住宅耐震診断士派遣事業（先着3戸）

【対象】 ①昭和56年5月31日以前着工の戸建て住宅、②在来軸組工法による平屋または2階建て、③過去に町の木造住宅耐震診断士派遣事業を受けていない方

【料金】 1戸あたり自己負担額3,085円（町負担額27,772円）

● 木造住宅耐震改修工事助成事業（先着1戸）

【対象】 ①上記の診断を受けた住宅、②耐震診

断の判定値が1.0未満と診断された木造住宅で、判定値を1.0以上にする耐震改修を行う方、③町税などを滞納していない方

【助成額】 工事費の2分の1を助成（上限617,000円）

② 被災者住宅再建支援事業

● 被災者住宅再建支援事業

町と岩手県では、東日本大震災により自宅を失った県内の方のうち、矢巾町内に「持ち家」を再建した方（世帯）を対象に、生活再建を支援する補助金を支給しています。要件や補助金額など、詳しくはお問い合わせください（町ホームページでも確認できます）。

※平成30年度終了予定ですので、ご利用の方はお早めにご相談ください。

【申し込み・問い合わせ】

要件や補助金額など、詳しくはお問い合わせください。所定の申込用紙に必要書類を添付の上、①、②ともに平成30年2月28日(木)までに、役場道路都市課都市計画係（☎611-2622）へ。

じゃじゃつとくんの つぶやき。

水道
豆知識
列伝！

その79

「水道週間」って知ってる？水道をもっと知ってもらうための期間で、6月1日から7日まで実施されるんだじゃ。今回のスローガンは『あたりまえ そんなみずこそ たからもの』。

普段は何気なく使ってる水道だけど、この機会に水道のことを考えてみてくれるとうれしいじゃ!!



最新情報はここから！「水道やはば」ホームページ

<http://suidou.town.yahaba.iwate.jp/>